

効率的に進めるために、毎年、容器包装プラスチック及びペットボトルのべール品（圧縮して収束された品）が資源化の基準に適合しているか品質調査を行い、結果を「A」「B」「D」の3段階で評価しています。今回、品質調査が実施されましたので、結果をお知らせします。

▼資源化できる基準に適合している例（要旨）

- ①容器包装プラスチック
    - ・汚れが付着したり強い異臭がしていない
    - ・ペットボトル区分の容器が混入していない
    - ・容器包装以外のプラスチックや他素材の品物（金属、紙、ゴムなど）が混入していない
  - ・禁忌品（医療廃棄物、ライター、カミソリ、ガラス、乾電池などの危険品）が混入していない
  - ②ペットボトル
    - ・キャップが外されている
- （来年からは、「キャップ、ラベルが外されている」ところが基準となる予定）
- ・中身が残っていたり異物が入っていない
  - ・テープや塗料が付着していない

ない  
 ・カットしたり縦つぶれになつていない

▼判定結果とお願い

①容器包装プラスチック

品質評価はA判定でしたが、他素材の品物（紙製容器包装）、容器包装以外のプラスチック製品（ストロー、商品プラスチックの一部など）、汚れが付着していたもの、ペットボトル、紙などの混入が見られました。

◎紙など他素材の品物が混ざらないよう、分別して出してください。

◎容器包装以外のプラスチック製品は、「不燃ごみ」として出してください。

◎必ず中身を使いきり、水洗いしてから出してください。

◎禁忌品は絶対に入れないでください。

②ペットボトル  
 最高ランクのA判定でしたが、キャップ付きやラベル付きのペットボトルの混入が見られました。

◎キャップ、ラベルは、必ず外して、容器包装プラスチックでまとめ、資源ごみ指定袋に入れて出してください。

◎中を軽くすすぎ、水を切つてから出してください。

◎中には、異物（紙類、金属、ガラスなど）を混入しないでください。

◎ペットボトル以外のプラスチック製品を混入しないでください。

今後ともよりよい資源化物を確保するため、適正なごみの分別について皆様のご協力をお願いします。

■問い合わせ

環境課

☎893-1160

生ごみの水切りなど、ごみの減量化にもご協力を！

お知らせ

猫と正しく付き合みましょう

最近、「猫が家の庭に来て困る」、「野良猫が増え、フン尿をされて困る」など、猫に関する苦情が多数寄せられています。

一人ひとりがマナーを見直し、快適な地域の生活環境にしていきましょう。



◎野良猫には無責任なエサやりをしないようにしましょう

エサをもらうと、野良猫はその場に居着き、繁殖します。結果的にかわいそうな野良猫が増え、フン害など近隣の方にも迷惑がかかります。動物と接するときには、愛情と同じくらい責任が必要です。

◎猫はできるだけ室内で飼いまししょう

猫をめぐる問題の多くは、屋外での猫の行動によるものです。室内飼育により、近隣に迷惑をかけず、不幸な事故や感染症から猫を守ることができます。

◎不妊去勢手術を受けさせましょう

猫は繁殖力が強く、次々と生まれてくる命に責任を持つのは困難です。また術後は性格が温和になるなどの効果が期待できます。

町では不妊又は去勢手術を希望する猫の飼い主、飼い主のいない猫を飼養管理する方に対して予算の範囲内で費用の一部を補助します。詳細は環境課までお問い合わせください。

◎愛情と責任をもって最後まで飼いまししょう

■問い合わせ  
 環境課  
 ☎893-1160

お知らせ

町民講座  
 いの元気塾開催

「町民講座 いの元気塾」の第5回目を左記の日程で開催します。町内にお住まいの方ならどなたでも参加していただけます。多数の方の受講をお待ちしています。

▼日時

10月8日(日)

13時30分～15時頃

▼場所

いのホール

▼内容

第10回 高知国際版画

トリエンナーレ展

記念講演

「版画を知ろう!!

～今日から版画の見え方が変わる～」

▼講師

版画家・

京都精華大学芸術学部

名誉教授 黒崎 彰さん

▼受講料

無料

■問い合わせ

教育委員会事務局

☎893-1922